しょく じ **食 事**

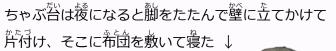
昭和時代の初め頃までは、一人ひとりが箱膳と呼ばれる
*** はこれでは、一人ひとりが箱膳と呼ばれる
*** はこれでは、一人かとりが箱膳と呼ばれる
*** ないでは、一人かの食事をしていました。中には一人分の食器
が入っていて、食器を洗うのは月に数回でした。
はこせん しょんせんよう かそく
箱膳は自分専用で、家族みんなで一つの食卓を囲むことは

箱膳は自分専用で、家族みんなで一つの食卓を囲むことはまだしていませんでした。テーブルを囲む西洋の文化が入ってきてからは、ちゃぶ台を使うようになりました。おかずの数は少なく、党や学などをよく食べていました。





← 後囍は洗わず、食べ終わった茶碗に お茶をそそぎ飲み干した後に、沢麓や希 で拭って片付けていた





炊飯器が発明されるまでは、かまどを使って米を炊いていました。薪の量で火加減を調節するため、かまどの前につきっきりでいなければなりませんでした。
冬場は炊いた米を飯びつに入れ、おひつ布団にくるんでこたつに入れて保温しました。米は腐ってしまっても、洗って干飯にしたり、おやきにしたりして、決して捨てることはありませんでした。

大類

脱だけでなく、靴にも ツギ当てをして置し て櫦いていた →



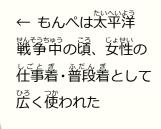
明治時代になると洋服を着る人も出てきましたが、ほとんどの人は和服を着て過ごしていました。

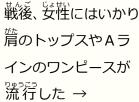
新しい服を買うことは少なく、ほとんどが古い 着物をほどいて自分で作っていました。布には 天然繊維(木綿や麻布)が使われていました。 素材や質も悪く、すぐに穴が開いてしまったた め、ツギ当てをして直して着ていました。

← ランドセルが普覧するまでは肩掛け範でを配置敷を使って登校していた

戦争が始まると物資も少なくなり、国民服と呼ばれる服装をするように決められました。特に女性は「もんペ」という服をよく着ていました。

戦争が終わると洋裁ブームが起き、洋服を着るようになりました。自分の好きな服をファッションとして着られるようになりました。







ふ呂

西日本では五右衛門風呂という形の風呂、東日本では鉄砲風呂という形の風呂を使っていました。五右衛門風呂は風呂桶の底に鉄の釜を取りつけ、かまどに据えつけて水を温めます。鉄砲風呂は鉄や銅でできた筒が桶の中に差し込まれていて、その下で炭や薪を焚いてお湯を沸かしました。

どちらも井戸水や川の水を外から大量に運んで来て、風呂桶に入れて火を起こして **
沈かしていたので、風呂に入るまでは大変な労力と時間がかかりました。

また、昔は風呂のある家は少なく、他の家と共同で使うことも多かったようです。 残った風呂水は捨てることなく、畑などの肥料として活用しました。

風含浆のために別や井声に 浆を汲みに行き、火起こし のための薪も割らなければ ならなかった ↓

毎日風名に入る習慣がなかったので、週に一度は洗髪するように 校則で決められていた ↓





お湯が熱くなりすぎないように、

常の質も悪かったため、 強く緩ると破けてしま うこともあった →

せん たく **洗 濯**

洗濯機のない時代は洗濯板を使って汚れた衣類を洗っていました。川や井戸水を入れたたらいを使い、洗濯物を洗濯板の上でもみ洗いにしました。

冬でも冷たい水のまま洗濯をしていたので、手が荒れて大変でした。

また、石けんのない時代には、米のとぎ汁や灰汁を洗剤として使っていました。



← 着物は縫い紫をほどいて常に戻してから 発い、張り版を従って 乾かしていた



まとこ こ あそ 男の子の遊び

男の子と女の子が混ざって遊ぶことは少な く、分かれて遊んでいました。

男の子は「めんこ」「竹馬」「兵隊ごっこ」「陣取り」、女の子は「あやとり」「お手玉」「まりつき」「ゴム跳び」などでよく遊んでいました。





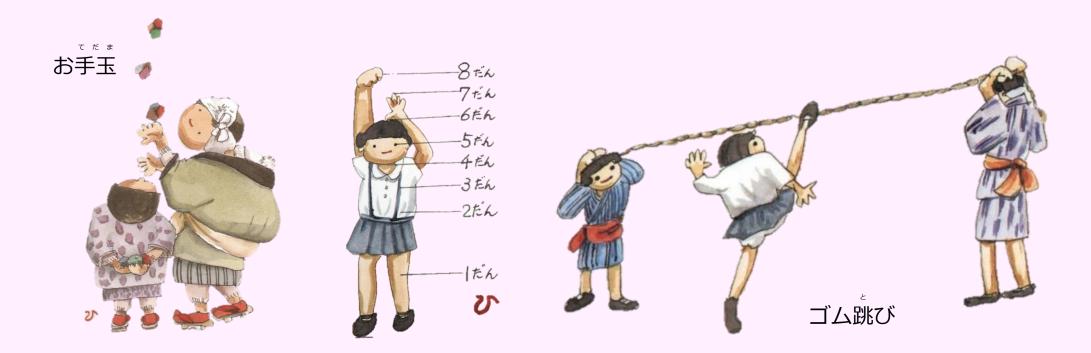
まりつき

女の子の遊び

昔は公園がなかったので、校庭や神社の境内で遊んでいました。 きょうだい あまま 兄弟が多かったので、年下の子の面倒を見たり、赤ちゃんの子守を したりしながら遊ぶ子も大勢いました。

子どももよく家の手伝いをさせられていたので、家ではなく外で遊んでいました。花を摘んだり木の実を拾ったりして、自然のものを上手く使いながら遊びを考えていました。

夏には川で水遊びをし、冬には凍った道でスケートをして、日が暮れるまで遊んでいました。



がっ こう 学 校

昔の机は横長で、二人で一つの机を使っていました。物を入れられる引き出しは付いていなく、天板を開いて教科書をしまっていました。

運動会もありましたが、農業の忙しい時期に行っていたため、保護者が見に来ることはありませんでした。徒競走で1位になると、ご褒美にお草紙や半紙がもらえ、お絵描きやメモに使用しました。

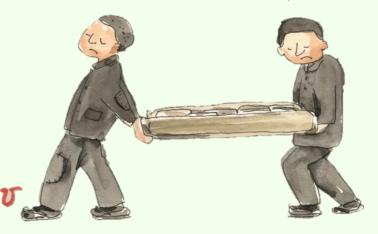
遠足や運動会のときしか、チョコレートやキャラメルは買ってもらえませんでした。







← れるの中の検査もあり、整理されていると○、 されていないと×がれる。これでいると○、 冬場はお発望をだるまストーブの間りに まとめて置き、20mmを入っていた ↓



なっ **夏の生活**

エアコンがなかったので、夏の暑いときは窓を開けたり、団扇や 扇風機を使ったりしていました。

また、昔は今よりも蚊が多かったので、刺されないために蚊帳や蚊取り線香を使っていました。



火ばしで競をくべて 塩めていた →





冬の寒いときには火鉢やこたつ、湯たんぽなどを使いました。 火鉢には炭を入れて燃やし、手をかざして温まります。火鉢は 暖房だけでなく、お湯を沸かしたり餅を焼いたり、コンロと しても重宝しました。

← かまどに残った炭をデ゚゚゙゙ 能という 道具を使ってこたつに移していた 冬の生活